



2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月1日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営推進本部長 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第3四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	128,368	2.0	3,373	△8.7	3,649	△4.0	1,940	△5.2
2018年11月期第3四半期	125,903	6.0	3,693	△1.2	3,802	0.5	2,046	△1.4

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 2,235百万円 (△7.8%) 2018年11月期第3四半期 2,425百万円 (△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	156.13	—
2018年11月期第3四半期	164.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第3四半期	88,066	40,170	41.7
2018年11月期	82,517	38,550	42.9

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 36,752百万円 2018年11月期 35,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2019年11月期	—	23.00	—		
2019年11月期（予想）				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	1.1	4,200	△10.6	4,140	△14.1	1,860	△20.2	149.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期3Q	12,677,900株	2018年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	2019年11月期3Q	249,476株	2018年11月期	249,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期3Q	12,428,424株	2018年11月期3Q	12,428,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2019年11月期の個別業績予想 (2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,600	3.6	2,300	△0.4	1,430	5.3	115.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復が続きました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは不透明感を増しております。

食品物流業界におきましては、慢性的な人手不足を背景とした人件費・車両調達コストの上昇、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画(2019年度から2021年度)を推進しております。

中期経営計画の初年度となる2019年度は、大型投資による減価償却費の増加が見込まれるなか、持続的成長に向け、収益力の強化、無人化・省力化への挑戦、輸送力の確保、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,283億68百万円と前年同期に比べ24億64百万円(2.0%増)の増収、営業利益は33億73百万円と前年同期に比べ3億20百万円(8.7%減)、経常利益は36億49百万円と前年同期に比べ1億52百万円(4.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億40百万円と前年同期に比べ1億6百万円(5.2%減)の減益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業収益は、天候不順による伸び悩みがありましたが、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、新規・既存拡大にともなう利益増に加え、適正料金の収受および運送業務の合理化などが進捗しましたが、労務費や将来の事業拡大に向けた営業費用の増加、新センター立上げ費用などの影響を受けました。

この結果、共同物流事業収益は851億25百万円と前年同期に比べ22億72百万円(2.7%増)の増収、営業利益は17億47百万円と前年同期に比べ2億93百万円(14.4%減)の減益となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアなどの既存取引が減少し減収となりました。利益面は、既存取引減少による利益減や人材確保にともなう労務費の増加影響を受けたものの、運送業務の合理化および適正料金の収受などが進捗しました。

この結果、専用物流事業収益は382億90百万円と前年同期に比べ5億65百万円(1.5%減)の減収、営業利益は12億52百万円と前年同期に比べ20百万円(1.7%増)の増益となりました。

(関連事業)

関連事業収益は、燃料販売数量や車両販売台数などの増加により増収となりました。利益面は、減価償却費などの増加影響を受けました。

この結果、関連事業収益は49億52百万円と前年同期に比べ7億57百万円(18.1%増)の増収、営業利益は3億48百万円と前年同期に比べ54百万円(13.6%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55億49百万円増加し、880億66百万円となりました。資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少5億79百万円はありましたが、有形固定資産の増加42億61百万円、受取手形及び営業未収入金の増加13億82百万円および敷金及び保証金の増加3億29百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ39億29百万円増加し、478億96百万円となりました。負債の増加の主な要因は、退職給付に係る負債の減少2億96百万円はありましたが、短期借入金の増加15億36百万円、長期借入金の増加14億46百万円および未払金等の増加による流動負債その他の増加13億92百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ16億19百万円増加し、401億70百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少1億36百万円はありましたが、利益剰余金の増加13億81百万円、非支配株主持分の増加2億87百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期までの各事業の進捗などを勘案した結果、下表のとおり連結および個別の業績予想を修正しております。個別業績では、営業収益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回る見込みです。連結業績においては、既存取引の減少により、営業収益は前回予想を下回る見込みとなりました。営業収益の下振れに加え、慢性的な人手不足を背景とした労務費や車両調達コストが増加したことなどから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。

2019年7月4日付の「2019年11月期 第2四半期決算短信」で公表しました、2019年11月期の連結業績予想および2019年1月10日付の「2018年11月期 決算短信」で公表しました、2019年11月期の個別業績予想との差異は以下のとおりです。

2019年11月期の連結業績予想数値の修正 (2018年12月1日～2019年11月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	172,000	4,800	4,900	2,470	198.74
今回修正予想 (B)	171,000	4,200	4,140	1,860	149.66
増減額 (B - A)	△1,000	△600	△760	△610	—
増減率 (%)	△0.6%	△12.5%	△15.5%	△24.7%	—
(参考) 前期実績 (2018年11月期)	169,155	4,698	4,822	2,331	187.60

(参考)

2019年11月期の個別業績予想数値の修正 (2018年12月1日～2019年11月30日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	91,000	1,830	1,110	89.31
今回修正予想 (B)	92,600	2,300	1,430	115.06
増減額 (B - A)	1,600	470	320	—
増減率 (%)	1.8%	25.7%	28.8%	—
(参考) 前期実績 (2018年11月期)	89,412	2,309	1,357	109.26

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,545	3,965
受取手形及び営業未収入金	19,560	20,943
商品	93	86
貯蔵品	112	135
その他	1,504	1,512
貸倒引当金	△129	△129
流動資産合計	25,686	26,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,077	11,368
機械装置及び運搬具(純額)	9,989	12,057
工具、器具及び備品(純額)	1,088	1,234
土地	21,492	21,808
リース資産(純額)	2,525	2,305
建設仮勘定	968	2,628
有形固定資産合計	47,141	51,403
無形固定資産	1,418	1,234
投資その他の資産		
投資有価証券	2,341	2,171
敷金及び保証金	3,810	4,139
その他	2,170	2,655
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,270	8,914
固定資産合計	56,830	61,552
資産合計	82,517	88,066

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,366	14,542
短期借入金	4,747	6,284
未払法人税等	912	569
賞与引当金	920	987
役員賞与引当金	60	56
その他	7,986	9,379
流動負債合計	28,994	31,818
固定負債		
長期借入金	10,664	12,110
退職給付に係る負債	804	508
資産除去債務	903	966
その他	2,600	2,491
固定負債合計	14,972	16,077
負債合計	43,966	47,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	27,499	28,881
自己株式	△361	△361
株主資本合計	35,411	36,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	597
繰延ヘッジ損益	△9	△8
為替換算調整勘定	94	78
退職給付に係る調整累計額	△809	△707
その他の包括利益累計額合計	9	△39
非支配株主持分	3,129	3,417
純資産合計	38,550	40,170
負債純資産合計	82,517	88,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
営業収益	125,903	128,368
営業原価	118,736	121,271
営業総利益	7,167	7,096
販売費及び一般管理費	3,473	3,723
営業利益	3,693	3,373
営業外収益		
受取利息	12	5
受取配当金	20	30
受取賃貸料	45	44
持分法による投資利益	15	19
補助金収入	4	303
デリバティブ評価益	33	—
その他	104	106
営業外収益合計	235	509
営業外費用		
支払利息	78	82
貸与設備諸費用	27	31
デリバティブ評価損	—	0
和解金	—	66
未稼働設備関連費用	—	32
その他	22	20
営業外費用合計	127	233
経常利益	3,802	3,649
特別利益		
固定資産売却益	52	32
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	60	32
特別損失		
固定資産除売却損	81	94
リース解約損	3	5
その他	2	—
特別損失合計	87	100
税金等調整前四半期純利益	3,775	3,581
法人税、住民税及び事業税	1,305	1,352
法人税等調整額	78	△65
法人税等合計	1,384	1,287
四半期純利益	2,390	2,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	344	353
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,046	1,940

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	2,390	2,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△144
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	△7	△17
退職給付に係る調整額	155	102
その他の包括利益合計	34	△58
四半期包括利益	2,425	2,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,086	1,891
非支配株主に係る四半期包括利益	338	344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年12月1日至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	82,852	38,855	4,195	125,903	—	125,903
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	6,056	687	3,399	10,144	△10,144	—
計	88,909	39,543	7,595	136,048	△10,144	125,903
セグメント利益	2,041	1,232	402	3,676	17	3,693

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	85,125	38,290	4,952	128,368	—	128,368
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	6,573	694	3,424	10,692	△10,692	—
計	91,698	38,985	8,377	139,061	△10,692	128,368
セグメント利益	1,747	1,252	348	3,348	24	3,373

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。